

先進的CCS支援事業

資源エネルギー庁資源・燃料部
石油・天然ガス課

令和5年度予算額

35 億円 (新規)

事業の内容

事業目的

昨年10月に閣議決定されたエネルギー基本計画において、2050年カーボンニュートラル目標や2030年46%削減目標の実現に向けて、脱炭素化できずCO2の排出が避けられない分野を中心として、CCS（二酸化炭素回収・貯留）はカーボンリサイクル（CCU）とともに最大限活用する必要があると位置づけられており、我が国の脱炭素化と産業政策やエネルギー政策を両立するための「鍵」となる重要なオプションの一つとなっています。本事業は、令和12年（2030年）までのCCS事業開始に向けた事業環境整備を目的とします。

事業概要

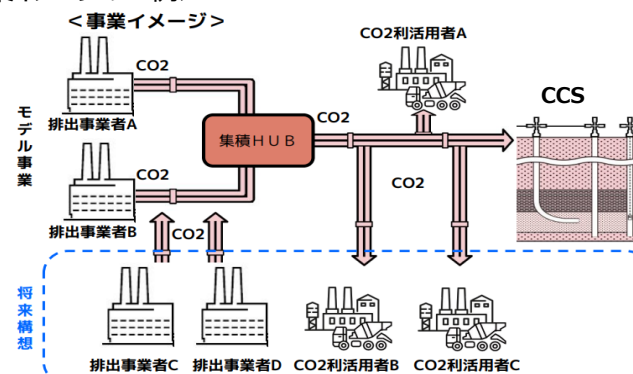
先進的なCCS事業について、分離・回収、輸送・貯留というCCSバリューチェーン全体の建設段階及び操業段階を全面的に支援します。具体的には、令和5年度から段階的に以下の事業を行います。

- (1) CCSの適地調査支援（令和6年度まで実施予定）
- (2) CCSの試掘支援（令和8年度まで実施予定）
- (3) CCSバリューチェーン全体の開発・建設支援（令和8年度から令和12年度まで実施予定）
- (4) CCSバリューチェーン全体の操業支援（令和12年度から実施予定）

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



<CCS事業イメージの一例>



成果目標

令和6年（2024年）までに先進的なCCS事業を選定し、令和12年（2030年）までのCCS事業開始を目指します。